

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

## 1. 平成 28 年度 定時総会について

平成 28 年度 定時総会を下記の要領で開催しましたのでご報告します。

- ◆日時：平成 28 年 7 月 4 日（月）16：00～17：30
- ◆場所：難波御堂筋ビルディング 8 階 難波御堂筋ホール
- ◆当日出席者（会員）：13 名／全 17 名 ◆委任状提出者：3 名

### (1) 第 1 号議案:平成 27 年度 事業報告及び決算報告

#### ◆平成 27 年度 事業報告

・平成 27 年度に実施した事業内容について、下記の 4 つに分けて、報告しました。

- ①**モデル整備区間協議会の運営支援**:千日前通以南モデル整備区間協議会に参画、大阪市との協議・意見交換等御堂筋沿道・千日前通以南モデル区間整備協議会ニュースの発行
- ②**各種取り組みの企画**:海外事例研究、御堂筋イルミネーションに関する府市との意見交換・事業への協賛
- ③**定例会の開催**:毎月の定例会の開催、本ニュースの発行
- ④**対外的な発信**:会のホームページ(Facebook)の開設、ホームページを用いた取り組み紹介 等

#### ◆平成 27 年度 決算報告

・平成 27 年度の決算報告が行われ、会計監査である(株)平川商事様より、監査の結果、平成 27 年度事業計画に基づき適正に執行され、会計処理が適正に行われた旨が報告されました。

#### <質疑・意見交換>

- ◎運営(事務)費については今後、確保していく必要がある。補助金の活用については、どのような状況か。商店街などと連携することで、商工会議所や国交省の補助金が獲得しやすくなるのではないかと。⇒収益事業を検討するとともに、次年度以降、補助金等を獲得できるよう情報収集していく。
- ◎事務局を雇う上で、信頼をもって継続できるよう、世間的な相場価格を教えてください。⇒事務局(アルパック)から、昨年度の実績を基に提示する。
- ◎ホームページについては、当面 facebook のみとなるのか。会の活動を一般の方も見る事ができるようなホームページの作成を検討してほしい。⇒現在、対外的な発信として、主要な沿道地権者様には定例会の資料やニュースなどを送付している。PR 活動を行い会員の拡大を図り、活動費を獲得しつつ、ホームページの開設なども進めていきたい。

以上の質疑・意見交換を経て、本議案を諮ったところ、一同賛成により承認されました。



## (2) 第2号議案:平成 28 年度 事業計画及び収支予算(案)

### ◆平成 28 年度 事業計画(案)

・平成 28 年度の事業計画について、事務局より下記の事項が提案されました。

#### ①沿道の「将来像(ビジョン)」の作成

有識者等の講演会実施/ビジョンとしてのとりまとめ/平成 29、30 年度の方向性検討・提示/その他

#### ③沿道の「イベント・プロモーション」

御堂筋イルミネーションへの協力と期間中の連携した取り組みの実施/沿道のイベントや会員のイベントとの連携/沿道の情報発信(会員拡大へ)

#### ②モデル整備区間での「駐輪問題等へのアクション」

供用開始を見据えた協議とアクション/難波駅前広場社会実験への協力、連携/協議会の運営支援、コーディネート、記録(ニュース)発行

#### ④定例会の開催

1~2ヶ月に1回程度の定例会議の開催/記録(ニュース)発行/会員以外へのニュース等の定期配信



御堂筋イルミネーションと合わせる形で活動を発信します



会のステップアップ

### ◆平成 28 年度 予算計画(案)

・平成 28 年度の予算計画について、事務局より提案されました。

#### <質疑・意見交換>

- ◎ビジョン作成に当たり、講師の方に講演いただくのであれば多方面に情報発信し、多くの方に来ていただきたい。特に若い方に出席いただきたい。人々の目に止まるような PR をお願いしたい。
- ◎プロモーションにライブハウスなどを活用する視点は重要。かつてクラブ等は嫌われものであったが、軽視してはいけない。ミナミに特に多く、アメリカ村だけで言えば単位面積あたりのライブハウス数は日本一である。大丸の上階には立派なホールもある。
- ◎何よりビル(会員)を増やさないとならない。今後、地権者の会員が増加してきたら、店子さんもサポーター会員などで参加してもらおう枠組みについても検討していくのがよい。
- ◎今回の歩道拡幅は、沿道の資産価値が上がる絶好のタイミングである。土地の運用について関心が増す機会に情報提供をしていくことが重要である、特にホテルに関する容積率の規制緩和については、情報収集が必要である。

以上の質疑・意見交換を経て、本議案を諮ったところ、一同賛成により承認されました。

## 2. 沿道の「将来像(ビジョン)」づくりに向けた講演会 【第1弾】 嘉名 光市 先生

～ 大阪のまちづくりをリードするミナミ御堂筋の展望 ～

沿道の「将来像(ビジョン)」の作成に向けた基調講演会の第1弾として、大阪市立大学大学院准教授の嘉名 光市先生にお話をいただきました。

講演を頂いた嘉名先生に、本会顧問への就任をお願いしたところ、快諾頂きました。今後、様々な場面で助言等を頂ければと思います。

以下、講演内容(抜粋)です。

## 80周年-御堂筋の今後を考える時期

御堂筋は公には昭和12年5月11日が竣工といわれており、実は来年で生誕80周年となります。千日前以南では歩道拡幅の整備も着手され、おそらく、90周年を迎える年には、難波駅前の広場もでき、歩道の拡幅も長堀くらいまで進んでいるかもしれません。そのくらいダイナミックな変化の時期に差しかかっています。まさに“これまでの80年を振り返り、これからの80年、90年について考えなければならない時期”であるといえます。

## 都市の顔となる通りのあり方

パリのシャンゼリゼはメインストリートとして世界的に有名ですが、このシャンゼリゼも90年代に大きく変化し、人のために道路を改変しました。しかし、重要なのは、パリ市では道路だけでなく、沿道の土地利用も時代に応じ変えていったということです。もともとシャンゼリゼ沿道は企業の本社が多いところでした。しかし、通りを賑わいの空間にしていくために劇場やホテルを誘致していったのです。このようにまちの性質を変えていく様な取り組みを合わせてやっているというのが特徴です。

最近では、シャンゼリゼでは月に一度、定例で自動車を閉め切り歩行者天国にする取り組みが発表されました。しかも、この発表があったのがテロの直後なので、パリ市としては並々ならぬ決意を持っていることであろうと思われます。「公共空間を変えていく」「シャンゼリゼをフランスの顔にしていく」というパリ人の強い意志が伺えます。大阪も何か大きなことを成そうとすると、御堂筋は譲ってはならないと思います。



オーチャードロード(シンガポール)についても話題提供がありました。



シャンゼリゼのイルミネーション

## ビジョンの必要性-御堂筋のコンセプトと地域の個性

今年は御堂筋の会においてもビジョンを作るという予定になっているようですが、私自身も是非、この地域のビジョンを考えて頂きたいと思っています。

御堂筋については、梅田から難波にかけて、多くの団体が活動されています。皆さん、それぞれの思いがあって活動されており、非常に良いことです。しかし、御堂筋全体のコンセプトのようなものも重要になると思います。全体像としては、御堂筋全体のコンセプトがあり、地域が個性を出していくようなあり方が良いのではないかと思います。ミナミ御堂筋の会でも是非、将来どうしていくのかをお考えになられ、各団体、ビジョンをつき合せ議論していくような機会が、今後要るのではないでしょうか。まずは自分たちがどのような活動をしたいのかという議論が必要です。銀座などでは“銀座カルチャーの創造”を掲げていますが、10年くらいはぶれないポリシーが、非常に重要です。

## 芝居のまち-ミナミ御堂筋は何で食べていくのか

後は、私の勝手な思いではありますが、ミナミはやはり“芝居のまち”であったと思います。まちのヘソとなるのは、芝居などのエンターテインメントであろうと思います。一方で、芝居などについては、興業の側面があり安定的なビジネスではなく、それだけで持続するのは難しいともいえます。しかし、ビル事業としての効率性のみを追求してしまうと、安定的な事業形態のものを優先させてしまい、テナントのタイプが均質化してしまいます。それが世の常かもしれませんが、それを変えていかないと、“ど

※講演内容の無断転載はお断り申し上げます。

こにでもあるまち”にしかならず、他との差別化が図れません。

そこで、参考になるのがニューヨークの125番街、ハーレムという地区のBIDです。このまちを見ると、ライブハウスやシアターなどのカルチャー系の施設がとても充実しており、これがまさにまちの特徴となっています。こういった施設は地価負担力が高くはありませんが、まちの個性を作っていたり、まちの顔になっていたりします。そこで、この地区ではニューヨーク市にアートギャラリーなどを持つてくることに対し、容積ボーナスの優遇措置(カルチュアル・ボーナス)をつくることを提案しています。

これは、125番街での事例ですが、ミナミでもこのような取り組みが出来ないかと考えています。芝居やクラブ、ライブハウスなどがまちの吸引力になっていくのではないのでしょうか。それらは賃料負担は難しいかもしれませんが、そういった施設をつくることをサポートできるまちをつくっていくことが非常に重要なのではないかと考えます。しかし、これは市役所が旗を振るようなはなしではなく、まずは地域にそういった施設を応援していこうという機運が必要で、次に大阪市に提案をしていくことで、成り立っていくものであろうと思います。

まずはビジョンを作成していただくことが重要であると思います。「このまちは何で食べていくか」も含めて考えていくことが、非常に大事であると思います。つまり「まちの顔って何だろう？」というところを考えていただきたいということです。また、御堂筋の再編にあたり、背後も含めた“まち全体のあり方”についても考えていただきたいということです。そういった意味では、非常に楽しみにしております。私にできることであれば、是非お手伝いしたいとも考えております。



#### <質疑・意見交換>

※講演内容の無断転載はお断り申し上げます。

- ◎“カルチュアル・ボーナス”が提案できるなど、海外事例は行政との協調がうまくいっていると思うが、大阪ではどうか。  
⇒20年前などと比べると、少しずつであるが行政も変わっているのではないかと。当時行政の認識としては、「民間は行儀の悪いことをする」という先入観があったのではないかと。しかし、バリ同様、民間出身の市長になるなど、民間と一緒に進めていかないとならないという認識を持ち出したのではないかと。
- ◎シャンゼリゼはイルミネーションも綺麗で、何より自転車がないようである。一方、我々は不法駐輪で非常に困っている。どうすればよいか。  
⇒御堂筋の南の方は、植樹帯が一様でなく、デッドスペースが自転車置き場とされがちである。道頓堀で社会実験をやっていたが、同様の取り組みがあるのではないかと。デッドスペースにキオスクみたいなものを置くなど、逆に賑わいを利用することで、自転車を置けなくする方法である。このような話は、地域の方々が詳細に場所の状況を把握し、進めていかないとなりません。

#### <定例会参加者>

【正会員】高橋（株式会社スポーツタカハシ）、木村、高士（都島自動車株式会社）、吉岡（株式会社大丸松坂屋百貨店）、中村（有限会社ナカムラ）、奥内（株式会社オクウチサービス）、藤本（稔・有吾）（株式会社播重）、池田（有限会社泉屋）、段・梅田（光明興業株式会社）、中山（平川商事株式会社）、高山（東亜商事株式会社）、奥谷（株式会社三栄建設）

【賛助会員】井原（株式会社アイ・プランニング）

【オブザーバ】門重（ミナミまち育てネットワーク）、山本（なんば安全・安心にぎわいのまちづくり協議会）

【事務局】中塚・絹原・羽田・中井（株式会社地域計画建築研究所（アルパック））

## 次回定例会のお知らせ

平成28年7月25日（月）16：00～ 難波御堂筋ホールにて開催

発行：ミナミ御堂筋の会 URL：<https://www.facebook.com/minami.midosuji>

問い合わせ先：ミナミ御堂筋の会事務局

（株式会社地域計画建築研究所大阪事務所 内【担当：絹原・羽田】） ※7月19日より移転しました

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F

TEL：06-6205-3600 FAX：06-6205-3601 E-mail：[minami-midosuji@arpak.co.jp](mailto:minami-midosuji@arpak.co.jp)